

看護学科 専門教育科目		要素		ディプロマ・ポリシー				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
				ディプロマ・ポリシー				①生命の尊厳と人間を尊重した看護の実践力	②健康の保持増進と生活の質を維持する看護の実践力	③保健医療福祉において多職種間および地域と協働・連携できる能力	④看護の探究心と研究的姿勢	⑤国際的視野から行動する力	
				ディプロマ・ポリシーに基づく3要素における具体的目標									
区分	授業科目	単位数	必修	履修年次				【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体性・多様性・協同性】	備考		
				1	2	3	4						
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	1. 人間理解を基盤として、健康に関与する看護の基本を身につけている。					
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	2. 援助的人間関係を基盤に人の誕生から老い(死)までの過程における健康課題に対して取り組むことができる。					
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	3. 健康の保持増進、疾病予防、健康障害からの回復に向けた看護が、専門的知識・技術を用いて、科学的根拠に基づき実施できる。					
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	4. 看護の対象である人を身体的・精神的・社会的側面を統合して理解する基礎力を身につけている。					
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	5. 人の自由と権利を尊重し、いかなる場合でも看護職者としての役割を倫理的に判断し、行動できる。					
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	6. “看護”を意識的に問い続け、自ら発見した看護に関する課題に対して研究的に取組み、看護の現象を科学的に追求する姿勢を継続できる。					
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	7. 看護の対象である人間的な思いや、社会と積極的に関わっていく高いコミュニケーション能力を身につけている。					
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	8. 質の高い医療の提供に向けて地域等様々な資源を活用するとともに、患者・家族を取り巻く多職種間を調整する役割を果たすことができる基礎力を有している。					
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	9. 諸外国の医療・看護の課題・看護事情に関心をもち、専門職者として国内外で活躍するための基礎力を有している。					
身体 の 構 造	形態解剖学	2	必	○				◎	◎	○			
	リハビリテーション概論	1	選	●				◎	○		○	○	
	感染免疫学	2	必		○			◎	◎			○	
	薬理学	2	必	○				◎	◎		○		
	疾病治療論Ⅰ	2	必	○				◎	◎		○	○	
	疾病治療論Ⅱ	2	必	○				◎	◎		○	○	
	疾病治療論Ⅲ	2	必	○				◎	◎		○	○	
	疾病治療論Ⅳ	2	必	○				◎	○	◎	○	○	
	精神 の 構 造	生涯発達論	1	必	●				◎	◎	○	○	
		精神発達論	1	必	●				◎	○	◎	○	○
		疾病治療論Ⅴ	2	必	○				◎	○	◎	○	○
		臨床心理学	1	選	○				○	◎	○	◎	
		カウンセリング	1	選		●			○		○	◎	○
	社会 の 構 造	公衆衛生学	1	必	●					○	◎	○	○
		関係法規	1	必	●					○	◎		○
		疫学	2	選			○			○	○	◎	○
保健統計		2	選			○			○	○	◎	○	
疾病治療論Ⅵ		2	必	○				◎	○	◎	○	○	
地域保健		2	選			○		◎	○	○		○	
産業保健		1	選			●		◎	○	○		○	
学校保健		1	選			●		◎	○	○		○	
健康教育		2	必	○				○	◎	○	○		
社会保障概論		1	必		●			◎	○		○	◎	
保健医療福祉行政論Ⅰ		1	必		●			○	◎		○		
保健医療福祉行政論Ⅱ	1	選			●		○	○	◎	○	○		
ボランティア活動論	1	必	●				◎	○	○		◎		

ディプロマ・ポリシー		DP1		DP2		DP3		DP4		DP5											
		①生命の尊厳と人間を尊重した看護の実践力		②健康の保持増進と生活の質を維持する看護の実践力		③保健医療福祉において多職種間および地域と協働・連携できる能力		④看護の探究心と研究的姿勢		⑤国際的視野から行動する力											
		ディプロマ・ポリシーに基づく3要素における具体的目標																			
看護学科 専門教育科目		要素		【知識・技能】				【思考力・判断力・表現力】				【主体性・多様性・協同性】									
				1. 人間理解を基盤として、健康に関する看護の基本を身につけている。 2. 援助的人間関係を基盤として人の誕生から老い(死)までの過程における健康課題に対して取り組むことができる。 3. 健康の保持増進、疾病予防、健康障害からの回復に向けた看護が、専門的知識・技術を用いて、科学的根拠に基づき実施できる。 4. 看護の対象である人を身体的・精神的・社会的側面を統合して理解する基礎力を身につけている。 5. 人の自由と権利を尊重し、いかなる場合でも看護職者としての役割を倫理的に判断し、行動できる。 6. “看護”を意識的に問い続け、自ら発見した看護に関する課題に対して研究的に取組み、看護の現象を科学的に追求する姿勢を継続できる。 7. 看護の対象である人間的な側面をもち、社会と積極的に関わっていく高いコミュニケーション能力を身につけている。 8. 質の高い医療の提供に向けて地域等様々な資源を活用するとともに、患者・家族を取り巻く多職種間を調整する役割を果たすことができる基礎力を有している。 9. 諸外国の医療・看護の課題・看護事情に関心をもち、専門職者として国内外で活躍するための基礎力を有している。																	
区分	授業科目	単位数	必修別	年次				免許・資格必選別	備考												
				1	2	3	4			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
看護の基礎	看護学概論	2	必	○						○	○	○	◎	○	◎				○		
	看護倫理	1	必			●				○	○		○	◎	○			○	○		
	看護研究Ⅰ	1	必				●								◎						
	看護援助論	1	必	●						○	◎	○	○	○	○						
	看護の基本技術Ⅰ	1	必	○						○		◎	○	○	○	○					
	看護の基本技術Ⅱ	1	必	○						○		◎	○	○	○	○					
	看護の基本技術Ⅲ	1	必	○						○		◎	○	○	○	○					
	ヘルスアセスメントの技術	1	必	○						○	○	○	◎	○							
	看護過程の技術	1	必	○						○	◎	○	◎	○							
	基礎看護の実践Ⅰ	1	必	○						◎	○		◎	○	○	○					
基礎看護の実践Ⅱ	1	必	○						○	○	◎	○	○	◎	○						
母性看護学	母性看護学概論	2	必	○						◎	○		◎	○				○	○		
	母性看護学方法論	1	必	○						○	◎	◎	○	○	○	○		○			
	母性看護の実践	1	必			◎				○	◎	○	○	○	◎	○		○	○		
小児看護学	小児看護学概論	2	必	○						○	◎		◎	○	○	○		○			
	小児看護学方法論	1	必	○						○	◎	◎	○	◎	○	○		○			
	小児看護の実践	1	必			◎				○	◎	○	○	◎	○	○		○			
成人看護学	成人看護学概論	2	必	○						○	◎		◎	○	○	○		○			
	成人看護学方法論Ⅰ	1	必	○						○	◎	◎	○	◎	○	○		○			
	成人看護学方法論Ⅱ	1	必	○						○	◎	◎	○	◎	○	○		○			
	成人看護の実践Ⅰ	1	必			◎				○	◎	○	○	○	◎	○		○			
	成人看護の実践Ⅱ	1	必			◎				○	◎	○	○	○	◎	○		○			
老年看護学	老年看護学概論	2	必	○						○	◎		◎	○	○	○		○			
	老年看護学方法論	1	必	○						○	◎	◎	○	○	○	○		○			
	老年看護の実践Ⅰ	1	必			◎				○		◎			○	○		○			
	老年看護の実践Ⅱ	1	必			◎				○	◎	◎	○	○	◎	○		○			
在宅看護学	地域看護学概論	2	必	○					保健師必 助産師必	○	◎	○	○	○	○			◎			
	在宅看護学概論	2	必	○						○	◎	◎	○	○	○			◎			
	在宅看護学方法論	1	必	○						○	◎	◎	○	○	○	○		◎	○		
	在宅看護の実践	1	必			◎				◎	◎		○	○	○	○		○			

